

Capo.3 1-F#L
Capo.1 オープンD

Com

都会の冬空

A_m F G

A_m G F C
白くかすしていった昼の空が

F A_m F G
すっかり晴れた夜は怖いほど黒く

A_m G F G F
街を流れる川に映るネオンさえも

A_m F G A_m
青白く光ってこの背筋にしみこむ

A_m G F C F G A_m
ここまで来たのに予定突然なくなる

A_m G F C F G A_m
あてのない足取りで肩先をぼめて腕を組む

G C G C
これからここで何をしようか

G C G C
このまま帰るのはあまりにさみしすぎる

1-F#L + オープンD

一人で飲むことなどとてもできない

そう思っていたはずが深くハマって

気がついたらいつの間にか深夜にチェックインした

シングルベッドの上 一人腰掛していた

窓から見える空 うきと目の黒さに

この時間にならなくてもセルのおかりまだ輝く

酔ってたはずが素面に戻り

このまま寝るのはあまりにさみしすぎる